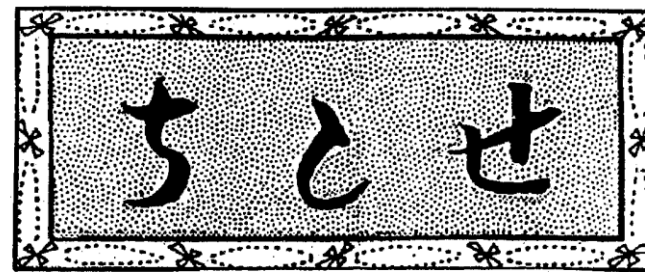


発行・編集 ミニコミ紙「ちとせ」編集委員会
編集長 松園 伸子
事務局 船橋まちづくりセンター
電話 03-3482-0341
2023 No.127



▲ミニコミ紙は世田谷区のホームページからもご覧になれます。二次元コードまたは、区HP内、[ミニコミ](#) [船橋](#)で検索

「多世代が交流する
笑顔あふれるまちへ」



4年ぶり開催 第34回 船橋ふれあいまつり

11月3日(金祝)夏のような陽射しの晴天の下、船橋ふれあいまつりが開催されました。船橋希望中学校吹奏楽部のファンファーレが開会を盛り上げ、舞台発表や催し物、模擬店やフリーマーケットなど30以上の地域の団体が参加しました。行列ができた出店も多数ありました。



▲子どもから高齢者まで、笑顔のあふれる1日となりました。

コロナ禍前と同規模の盛大な催しとなりましたが、ある出店者は「4年の間に役員が入替わり、お祭を知らない人もいて準備にちょっぴり苦労しました。『以前のように』をつないで行くことの大切さを実感しました」と話してくれました。



▲希望丘公園にたくさんの人で賑わいました。はしご車から撮影

住民が増加しているこの地域にあって、船橋ふれあいまつりもますます発展していくことでしょう。

災害時の情報収集方法を確認しよう！～関東大震災発生から100年～

日頃から災害に対する備えを行っていますか？災害時の情報収集の方法をまとめました。

世田谷区防災ポータル登録を！

マグニチュード7クラスの地震が今後30年以内に約70%の確率で発生すると推定され、いつか大きな地震がやってきます。今回は、災害時に情報を収集する方法について紹介します。

まずは、区が提供する『世田谷区防災ポータル』(9月11日から運用開始)です。このポータルでは、災害時の「避難情報」、「避難所の開設情報」など様々な情報を確認することができます。災害のない時には日頃の備えに役立つ情報として、避難所やハザードマップの情報等が確認できるインターネットサイトとなっています。いざという時のためにお気に入り登録(ブックマーク)をオススメします。



▲世田谷区防災ポータルの画面

URL <https://setagaya-bousai.my.site.com>



この他にも左の表のように、災害時に情報を入手することができます。災害時の混乱の中では、デマが流布されることもあります。デマや噂に流されず、その情報は誰が発信したものなのか、正確な情報なのかを確認することが必要です。

災害に対する備えを行うには、実際に災害が発生するまでの時間的な猶予があります。災害が起きた後では対応に追われ、準備する時間はありません。

準備ができるうちに水や食料、生活必需品等の備蓄、家屋の耐震化、家具の転倒防止など在宅避難ができるように備えるとともに各町会自治会等の防災訓練、避難所運営訓練へ参加し、災害への備えを行いましょ。



ミニコミちとせ123号(令和4年7月発行)では、船橋地区の避難所、震災時の避難の流れの記事にしました。世田谷区ホームページにバックナンバーを載せていますので、是非ご確認ください。



防災訓練に参加してみませんか

各町会自治会では、定期的に防災訓練を実施しています。葎根会では9月17日(日)葎根公園にて、まちかど防災訓練車、煙中避難、消火器、AED、マンホールトイレ及びスタンドパイプ放水等、体験型防災訓練を実施しました。

希望ヶ丘団地自治会でも9月24日(日)、4年振りに訓練を実施。けやき広場にて、消火器、スタンドパイプ放水、AED、ガス発電機、太陽光蓄電池の使用法を学びました。



▲消防署職員から説明を聞きスタンドパイプを体験

「安否確認訓練」って？

船橋会では、「災害時安否確認カード」を使用した訓練を9月2日(土)に実施。防災行政無線からの「訓練開始の呼びかけ」を合図に、見えやすい場所にカードまたは黄色い布を掲示。会員の約3割が参加しました。

この訓練は、発災時に安全を知らせる一方、救助が必要な家を見つけ、近所の方々と協力して救命するために実施しています。



▲災害時安否確認カード

避難所運営訓練へ

各町会自治会は学校等の避難所運営訓練を行っています。船橋会は7月1日(日)、船橋小学校・千歳丘高校の2校で運営訓練を同時開催。訓練は、区の「避難所運営マニュアル」にそって、参加者が自主的に避難所設営を行うという実践的な内容。



参加者はグループに分かれ、防災倉庫、建物内外の確認、マンホールトイレの設置、受付場所の選定をし、避難所を開設。参加人数は計80名でした。

千歳台廻澤町会等は千歳台小学校で11月19日(日)、フレール西経堂自治会等は希望丘小学校で来年2月に避難所運営訓練の開催を予定しています。避難所運営訓練はどなたでも参加できますので、ぜひ足を運んでください。



▲避難所開設のため体育館内外の確認をする様子

主な防災情報の収集と提供

1	テレビ、ラジオ	テレビやエフエム世田谷(周波数 FM83.4MHz)から、区内の地震情報、開設避難所情報、被害状況、生活情報などの災害情報が発信されます。
2	防災行政無線	区内189か所に設置された防災行政無線塔からの放送により、災害情報などが発信されます。放送内容が聞き取れなかったときは、自動録音された放送内容(24時間以内に放送された内容)を 050-5536-6957 に電話すると、聞くことができます。
3	世田谷区ホームページ、SNS	区のホームページやSNS等で、災害情報などが発信されます。
4	災害・防犯情報メールサービス	あらかじめ登録されたメールアドレスあてに災害情報などが送信されます。
5	緊急速報メール(登録不要)	配信時に世田谷区内にいる方の携帯電話やスマートフォンに、避難情報などが配信されます。
6	広報車	区の広報車が地域を巡回し、避難情報などが発信されます。

🌸 船橋地区の行事予定 🌸

11月14日(火)	スマートフォン講座	船橋まちセン
11月18日(土)	知床らうす物産展	千歳船橋駅前
11月19日(日)		
11月18日(土)	希望丘小学校開校50周年記念式典	希望丘小学校
11月18日(土)	船橋希望中学校避難所運営訓練	船橋希望中学校
11月19日(日)	千歳台小学校避難所運営訓練	千歳台小学校
11月25日(土)	砧地域タウンミーティング	成城ホール
12月 9日(土)	船橋会ハッピーコンサート	船橋まちセン
12月16日(土)	ミニコミ40周年記念座談会	船橋まちセン
12月17日(日)	子どもぶんか村音楽くらぶコンサート	成城ホール

📢 予告 ミニコミ紙「ちとせ」発行40周年記念座談会

12月16日(土) 13:30~16:00
 「船橋千歳台の戦後の歴史を語る
 ~大川(烏山川)のほとりに生まれた発展の源」
 今は暗渠となった烏山川の流れる農地は、区画整理を経て市街地へと変わりました。懐かしい風景、人々の暮らしなどを知ることができる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

主催 ミニコミ紙「ちとせ」編集委員会
 場所 船橋まちづくりセンター 活動フロア1
 申込方法 下記番号に電話で申し込み
 船橋まちづくりセンター 3482-0341
 その他 先着30名、参加費無料
 お話 鈴木照枝さん(船橋3丁目) 西川立一さん(船橋3丁目)
 亀井重幸さん(船橋5丁目) 野島浩一さん(千歳台5丁目)

◆ 編集後記
 ◆ 希望ヶ丘団地の民生委員になって4年目。希望ヶ丘団地自治会が月一回、団地のEラウンジで開催している「希望ヶ丘喫茶」が楽しみです。美味しいコーヒーを味わい、おしゃべりが弾みます。できるだけ多くの高齢者と笑顔でお話したいな、と思っています。◆ 今年は希望ヶ丘団地管理サービス事務所主催、化粧品会社による化粧療法セミナー「いきいき美容教室」(全6回・終了)にも参加しました。◆ 化粧を髪をとかし、手指や腕を動かすことが脳への刺激になり、心身機能や生活の質の維持向上に役立つそう。マスク生活で使わなかった口紅を久しぶりにつけ、メイクが完成すると思わず笑顔に。講座後はお茶とお菓子で交流しました。◆ 各所のふれあいの場が再開しています。皆様もお近くの会場にお出かけになりませんか?(S)

🎉 おめでとう！希望丘小学校が50歳に 🎉

昭和49年開校の希望丘小学校が50周年を迎え、祝賀行事が続いています。6月17日(土)は、児童が考えたプログラムで記念集会を開催。卒業生3人の思い出話に耳を傾けた後、学校クイズに挑戦し、楽しいひと時を過ごしました。11月11日(土)には、児童、新旧教職員、保護者、地域の有志等が集まって結成した合唱団がベートーベンの「第九」を披露するそうです。合唱では原語のドイツ語に挑戦、ソロパートは音楽専科の佐々木先生が担当するため、体育館に響く祝賀の歌声に期待が集まっています。「記念式典・祝賀会」は11月18日(土)に開催。コロナ禍での制限がなくなり、多くの方がお祝いに集まる予定です。小規模校と言われた時期を乗り越え、今年は587名もの児童が学んでいます。いつの時代も学校と地域が手を取り合い、創意工夫で子どもたちを支えてきた希望丘小学校。これからも地域の大切な核であり続けて欲しいと思います。



▲記念集会の「学校クイズ」で元気に手を挙げる子どもたち

子どもたちから地域へ 笑顔のプレゼント！

8月25日(金)、青少年船橋地区委員会子どもぶんか村のメンバーが船橋まちづくりセンターに集まり「小さな夏まつり」を開催。地域の小さい子どもたちを楽しませようと工夫したゲームのお店をメインに、実行役の子供・生徒もしっかり楽しめるイベントが復活しました。



▲敬老の日に有隣ホームでパワーあふれるダンスを披露する子どもたち

9月18日(月・祝)敬老の日には、「総合型地域スポーツ・文化クラブ ちとふなコミュニティ」の「ちとにこだんす CLUB」が高齢者施設・有隣ホームでダンスをプレゼント。練習の成果を披露した後は入所者の皆さんと一緒に「東京ブギウギ」を踊ったり、メンバーの自己紹介に笑いがこぼれたり、ダンスに合わせて手拍子したり、楽しいひと時となりました。子どもたちから地域へ、笑顔と元気を届ける活動が動き出しています。

船橋希望学舎合同 子どもの安全を考える集い開催

9月13日(水)希望丘区民集会所で、学舎合同の「子ども安全ボランティアミーティング」を開催。子ども安全ボランティア、PTA、まちづくりセンター職員など27名が参加しました。成城警察署のスクールサポーターからは、子どもに関わる防犯安全情報が共有され、成城署管内では小学生の万引きが昨年同期比32.8%増(152件)、その中でも2年生以下が増えているとのことでした。また、SNS 経由で犯罪被害に遭うケースが後を絶たず、保護者はぜひ子どもたちと日々会話し目を配ってほしいとのことでした。続いて各校の情報・意見交換が行われ、子どもを見守る地域のつながりが大きく広がる機会となりました。

神明神社例大祭 4年ぶり本格開催—廻澤神社は来年に

船橋全域の氏神様である船橋神明神社の秋季例大祭が、9月23日(宵宮祭)24日(本祭)に行われました。

小気味のよい船橋囃子(ばやし)が奏でられる中、山車(だし)巡行、神輿(みこし)・子供神輿渡御(とぎよ)などが、他の神社の睦会等の友好団体の協力を得て、行われました。

境内いっぱいの露店もこれまで通り、町会、ボーイスカウト、PTA 等、安心して買えるお店とあって、ラムネ、焼きそば等を手に、大人も子どもも、久しぶりの秋祭りを楽しむ様子が見られました。

一方、千歳台はかつて廻澤と呼ばれていました。その名を今に伝える廻澤稲荷神社には山車と大太鼓があり、廻澤囃子と共に祭りの主役です。現在は社殿改修中のため、例大祭は9月9日、役員による式典が行われました。社殿の完成は来夏の見込み。来年の例大祭が楽しみです。



▲神酒所(休憩所)で手打ちをする神輿の担ぎ手の皆さん



▲今年には社殿改修中

スーパー2店舗閉店 「ドラッグストアの生鮮品、助かる」の声

この6月、希望ヶ丘団地内サンヒルズのスーパー「さえき希望ヶ丘食品館」が、13年間の営業を終え閉店。「買いやすかったのに残念」と、団地に住む60代女性。そんな折、今度は「ヨークマート桜上水店」(桜上水2丁目)が43年間の営業を終え9月に閉店。身近なスーパーが2店舗も閉店し、日々の買い物に苦労している、という声を耳にします。

船橋5丁目の70代女性は「高齢になり自転車に乗るのをやめたので、少し遠いスーパーまで20分以上歩きます。買い物の頻度が半分になりました」とのこと。船橋6丁目の80代男性は「船橋まちづくりセンターに近いドラッグストアは、肉や魚も扱っているので助かります」と話してくれました。

高齢者にとっては、ほんの少し遠くまで歩くのもしんどいもの。宅配サービスやネットスーパーもありますが、近所の行き慣れた店の大切さを改めて実感されているようです。なお、さえきの後には新しいスーパーが12月中旬に開店予定です。

日赤奉仕団船橋分団 楽しく交流会

8月18日(金)、船橋まちづくりセンターで日赤奉仕団船橋分団の「暑気払い」と銘打った団員交流会が行われました。分団初の試み。

15名の常任委員は毎月の定例会で情報共有と意見交換をしていますが、一般の団員とはなかなか機会がありませんでした。そこで分団の活動報告と予定とをお伝えした後、グループに分かれ、社資募集の工夫や苦労されたエピソードなどを話し合いました。研修したい内容や将来的な活動の不安など、様々な「本音」を出し合うことができました。

活動の苦労を共感し合ったり、発展しにくかった話題に広がりが見られたり、今まで少なかった研修会への参加希望者がすんなり見つかったりと、成果の多い集まりになりました。持続可能な活動に向けて、新たな取り組みが始まっています。